

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 岐阜県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	岐阜県総合医療センター	2
-	多治見病院	3
-	下呂温泉病院	4
岐阜市	岐阜市民病院	5
大垣市	大垣市民病院	6
多治見市	多治見市民病院	7
中津川市	総合病院 中津川市民病院	8
美濃市	美濃病院	9
羽島市	羽島市民病院	10
恵那市	市立恵那病院	11
恵那市	国民健康保険上矢作病院	12
土岐市	土岐市立総合病院・駄知診療所	13
飛騨市	国民健康保険飛騨市民病院	14
郡上市	郡上市民病院	15
郡上市	県北西部地域医療センター国保白鳥病院	16
下呂市	下呂市立金山病院	17
関ヶ原町	国保関ヶ原病院	18
東白川村	国保病院	19

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名			
病院名	岐阜県総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,978,742	
決算規模(千円)	963,989,167	
標準財政規模(千円)	480,002,578	
財政力指数	0.55930	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.9
	将来負担比率(%)	217.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	142,545			
1 経常収益	142,545			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	142,545			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	142,545			
2 経常費用	142,545			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	55.8
材料費	-	-	25.3	29.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0
減価償却費	-	-	9.5	8.7
経費	-	-	22.7	19.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	142,545			
(うち支払利息)	142,545		1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	8,610,257			
経常収支比率	100.0		101.9	102.5
医業収支比率	-		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-

備考：
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名			
病院名	多治見病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,978,742	
決算規模(千円)	963,989,167	
標準財政規模(千円)	480,002,578	
財政力指数	0.55930	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.9
	将来負担比率(%)	217.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	38,489			
1 経常収益	38,489			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	38,489			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	38,489			
2 経常費用	38,489			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	55.8
材料費	-	-	25.3	29.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0
減価償却費	-	-	9.5	8.7
経費	-	-	22.7	19.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	38,489			
(うち支払利息)	38,489	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	1,662,562			
経常収支比率	100.0		101.9	102.5
医業収支比率	-		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名			
病院名	下呂温泉病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,978,742	
決算規模(千円)	963,989,167	
標準財政規模(千円)	480,002,578	
財政力指数	0.55930	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.9
	将来負担比率(%)	217.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	13,996			
1 経常収益	13,996			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	13,996			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,996			
2 経常費用	13,996			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	-	-	9.5	10.2
経費	-	-	22.7	28.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	13,996			
(うち支払利息)	13,996	-	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	245,199			
経常収支比率	100.0		101.9	99.9
医業収支比率	-		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	86.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-

備考：
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				岐阜県
市町村・組合名	岐阜市			
病院名	岐阜市民病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	56,541 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	29	指定病院の状況	救臨が 災地 輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	500床以上	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	515	82.4	76.3	77.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	75.7	77.9	70.4
感染症	-	-	-	-
計	565	81.8	76.4	77.2
平均在院日数(一般病床のみ)		11.3	10.6	11.1

設立団体の状況		
人口(人)	402,557	
決算規模(千円)	241,894,694	
標準財政規模(千円)	85,402,941	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,570,001			
1 経常収益	22,570,001			
(1) 医業収益	19,141,632			
入院収益	12,271,626			
外来収益	6,179,220			
診療収入計	18,450,846			
その他医業収益	690,786			
(うち他会計負担金)	372,478			
(2) 医業外収益	3,428,369			
(うち国・都道府県補助金)	1,368,709			
(うち他会計補助・負担金)	830,322			
(うち長期前受金戻入)	830,737			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,020,149			
2 経常費用	22,020,149			
(1) 医業費用	20,761,472			
職員給与費	9,665,106	50.5	62.1	55.8
材料費	5,965,278	31.2	25.3	29.8
(うち薬品費)	4,257,193	22.2	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,693,396	8.8	11.4	13.0
減価償却費	1,528,840	8.0	9.5	8.7
経費	3,524,212	18.4	22.7	19.7
(うち委託料)	1,987,109	10.4	12.6	12.6
研究研修費	58,607			
資産減耗費	19,429			
(2) 医業外費用	1,258,677			
(うち支払利息)	115,830	0.6	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	549,852			
純損益	549,852			
累積欠損金	700,489			
経常収支比率	102.5		101.9	102.5
医業収支比率	92.2		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	5.3		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	6.3		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	5.3		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	97.0		89.3	93.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,656,171
1 固定資産	15,734,062
(1) 有形固定資産	15,261,920
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	472,142
2 流動資産	8,922,109
(1) 現金及び預金	4,903,850
(2) 未収金及び未収収益	3,957,095
(3) 貸倒引当金()	21,432
(4) 貯蔵品	82,596
3 繰延資産	-
負債合計	20,193,176
1 固定負債	11,197,692
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,246,917
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,950,775
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,838,339
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,999,263
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	650,468
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,105,828
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,157,145
(1) 長期前受金	14,187,844
(2) 長期前受金収益化累計額()	10,030,699
資本合計	4,462,995
1 資本金	4,707,236
2 剰余金	-244,241
(1) 資本金剰余金	10,800
(2) 利益剰余金	-255,041
負債・資本合計	24,656,171
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.4
修正医業収益(千円)	18,769,154

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,202,800	1,202,800
資本勘定繰入	1,167,067	1,167,067
計	2,369,867	2,369,867

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				岐阜県
市町村・組合名	大垣市			
病院名	大垣市民病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	79,046 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感災地	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	500床以上	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	857	65.9	68.6	72.1
療養	-	-	-	-
結核	40	15.9	16.5	11.6
精神	-	-	-	-
感染症	6	43.9	2.0	-
計	903	63.5	65.9	69.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	10.6	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	158,286	
決算規模(千円)	77,446,374	
標準財政規模(千円)	36,173,659	
財政力指数	0.88	
経常収支比率(%)	90.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.3
	将来負担比率(%)	32.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	102.9
修正医業収益(千円)	32,472,570

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	34,775,819			
1 経常収益	34,351,274			
(1) 医業収益	32,472,570			
入院収益	18,943,367			
外来収益	13,077,130			
診療収入計	32,020,497			
その他医業収益	452,073			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,878,704			
(うち国・都道府県補助金)	1,271,617			
(うち他会計補助・負担金)	175,977			
(うち長期前受金戻入)	24,650			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	424,545			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	34,207,690			
2 経常費用	33,464,545			
(1) 医業費用	31,572,257			
職員給与費	13,724,868	42.3	62.1	55.8
材料費	12,319,788	37.9	25.3	29.8
(うち薬品費)	8,052,584	24.8	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	4,101,352	12.6	11.4	13.0
減価償却費	1,616,120	5.0	9.5	8.7
経費	3,829,671	11.8	22.7	19.7
(うち委託料)	2,192,147	6.8	12.6	12.6
研究研修費	62,192			
資産減耗費	19,618			
(2) 医業外費用	1,892,288			
(うち支払利息)	93,048	0.3	1.3	1.2
(3) 特別損失	743,145			
損益				
経常損益	886,729			
純損益	568,129			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.6		101.9	102.5
医業収支比率	102.9		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	0.5		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	0.5		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	0.5		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	102.1		89.3	93.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	52,562,818
1 固定資産	21,538,531
(1) 有形固定資産	19,010,287
(2) 無形固定資産	444
(3) 投資その他の資産	2,527,800
2 流動資産	31,024,287
(1) 現金及び預金	24,392,818
(2) 未収金及び未収収益	6,456,736
(3) 貸倒引当金()	95,557
(4) 貯蔵品	270,290
3 繰延資産	-
負債合計	11,507,387
1 固定負債	7,384,941
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,319,590
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,985,123
(7) リース債務	80,228
2 流動負債	3,427,164
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	260,268
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	878,700
(6) リース債務	41,858
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,221,338
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	695,282
(1) 長期前受金	1,582,027
(2) 長期前受金収益化累計額()	886,745
資本合計	41,055,431
1 資本金	22,159,645
2 剰余金	18,895,786
(1) 資本金剰余金	149,109
(2) 利益剰余金	18,746,677
負債・資本合計	52,562,818
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	426,520	175,977
資本勘定繰入	808,733	161,041
計	1,235,253	337,018

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 岐阜県	
市町村・組合名	多治見市				
病院名	多治見市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,779 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	30	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	250	71.6	69.7	66.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	71.6	69.7	66.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	15.6	15.1

設立団体の状況		
人口(人)	106,732	
決算規模(千円)	51,500,856	
標準財政規模(千円)	23,570,028	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(%)	87.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-3.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	606,256			
1 経常収益	606,256			
(1) 医業収益	85,326			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	85,326			
(うち他会計負担金)	75,834			
(2) 医業外収益	520,930			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	314,307			
(うち長期前受金戻入)	179,379			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	622,577			
2 経常費用	622,577			
(1) 医業費用	557,023			
職員給与費	-	-	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	179,705	210.6	9.5	10.2
経費	377,168	442.0	22.7	28.2
(うち委託料)	9,972	11.7	12.6	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	150			
(2) 医業外費用	65,554			
(うち支払利息)	46,700	54.7	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-16,321			
純損益	-16,321			
累積欠損金	1,667,893			
経常収支比率	97.4		101.9	99.9
医業収支比率	15.3		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	64.4		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	457.2		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	64.4		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	34.7		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,359,678
1 固定資産	5,817,979
(1) 有形固定資産	5,677,342
(2) 無形固定資産	2,906
(3) 投資その他の資産	137,731
2 流動資産	541,699
(1) 現金及び預金	541,526
(2) 未収金及び未収収益	173
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,897,573
1 固定負債	3,676,271
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,626,479
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	49,792
(7) リース債務	-
2 流動負債	268,376
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	247,587
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,789
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	952,926
(1) 長期前受金	2,576,579
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,623,653
資本合計	1,462,105
1 資本金	1,693,432
2 剰余金	-231,327
(1) 資本金剰余金	1,436,566
(2) 利益剰余金	-1,667,893
負債・資本合計	6,359,678
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	1.7
修正医業収益(千円)	9,492

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	208,224	390,141
資本勘定繰入	112,511	112,511
計	320,735	502,652

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1954.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名	中津川市				
病院名	総合病院 中津川市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	25,973 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	360	64.9	71.2	70.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	360	64.9	71.2	70.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	12.7	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	76,570	
決算規模(千円)	47,681,807	
標準財政規模(千円)	24,353,893	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	91.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,233,248			
1 経常収益	9,082,048			
(1) 医業収益	7,364,627			
入院収益	4,849,499			
外来収益	2,062,762			
診療収入計	6,912,261			
その他医業収益	452,366			
(うち他会計負担金)	130,758			
(2) 医業外収益	1,717,421			
(うち国・都道府県補助金)	1,099,154			
(うち他会計補助・負担金)	539,896			
(うち長期前受金戻入)	26,622			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	151,200			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,929,803			
2 経常費用	8,755,803			
(1) 医業費用	8,376,002			
職員給与費	4,572,012	62.1	62.1	63.5
材料費	1,701,764	23.1	25.3	24.9
(うち薬品費)	789,826	10.7	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	911,938	12.4	11.4	11.8
減価償却費	504,968	6.9	9.5	10.0
経費	1,578,783	21.4	22.7	21.7
(うち委託料)	1,013,638	13.8	12.6	12.2
研究研修費	15,046			
資産減耗費	3,429			
(2) 医業外費用	379,801			
(うち支払利息)	28,971	0.4	1.3	1.4
(3) 特別損失	174,000			
損益				
経常損益	326,245			
純損益	303,445			
累積欠損金	7,610,777			
経常収支比率	103.7		101.9	101.7
医業収支比率	87.9		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.4		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.1		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	7.3		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	96.1		89.3	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,664,144
1 固定資産	5,164,220
(1) 有形固定資産	4,644,883
(2) 無形固定資産	1,824
(3) 投資その他の資産	517,513
2 流動資産	2,499,924
(1) 現金及び預金	849,247
(2) 未収金及び未収収益	1,509,199
(3) 貸倒引当金()	3,632
(4) 貯蔵品	145,110
3 繰延資産	-
負債合計	5,296,983
1 固定負債	3,684,778
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,017,087
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,649,651
(7) リース債務	18,040
2 流動負債	1,349,137
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	362,612
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	355,499
(6) リース債務	7,208
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	586,900
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	263,068
(1) 長期前受金	889,510
(2) 長期前受金収益化累計額()	626,442
資本合計	2,367,161
1 資本金	9,952,206
2 剰余金	-7,585,045
(1) 資本金剰余金	25,732
(2) 利益剰余金	-7,610,777
負債・資本合計	7,664,144
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.4
修正医業収益(千円)	7,233,869

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	670,654	670,654
資本勘定繰入	238,167	238,167
計	908,821	908,821

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	103.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名	美濃市				
病院名	美濃病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	14,289 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	122	85.7	89.0	89.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	122	85.7	89.0	89.4
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	11.8	13.9

設立団体の状況		
人口(人)	19,247	
決算規模(千円)	12,914,959	
標準財政規模(千円)	5,993,622	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	41.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	98.7
修正医業収益(千円)	2,487,891

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,701,255			
1 経常収益	2,687,383			
(1) 医業収益	2,503,826			
入院収益	1,588,992			
外来収益	691,137			
診療収入計	2,280,129			
その他医業収益	223,697			
(うち他会計負担金)	15,935			
(2) 医業外収益	183,557			
(うち国・都道府県補助金)	121,478			
(うち他会計補助・負担金)	41,854			
(うち長期前受金戻入)	5,125			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,872			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,679,105			
2 経常費用	2,663,483			
(1) 医業費用	2,521,206			
職員給与費	1,205,345	48.1	62.1	67.4
材料費	311,123	12.4	25.3	17.7
(うち薬品費)	121,768	4.9	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	189,355	7.6	11.4	8.8
減価償却費	223,818	8.9	9.5	10.7
経費	775,445	31.0	22.7	29.2
(うち委託料)	382,556	15.3	12.6	13.9
研究研修費	2,802			
資産減耗費	2,673			
(2) 医業外費用	142,277			
(うち支払利息)	34,487	1.4	1.3	1.5
(3) 特別損失	15,622			
損益				
経常損益	23,900			
純損益	22,150			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.9		101.9	100.3
医業収支比率	99.3		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	2.2		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	2.3		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	2.1		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	98.7		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,226,700
1 固定資産	4,253,758
(1) 有形固定資産	4,010,996
(2) 無形固定資産	212
(3) 投資その他の資産	242,550
2 流動資産	2,972,942
(1) 現金及び預金	2,569,851
(2) 未収金及び未収収益	401,566
(3) 貸倒引当金()	2,324
(4) 貯蔵品	3,849
3 繰延資産	-
負債合計	3,312,466
1 固定負債	2,736,191
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,736,191
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	456,874
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	249,171
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	80,871
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	126,824
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	119,401
(1) 長期前受金	213,940
(2) 長期前受金収益化累計額()	94,539
資本合計	3,914,234
1 資本金	3,452,320
2 剰余金	461,914
(1) 資本金剰余金	208,459
(2) 利益剰余金	253,455
負債・資本合計	7,226,700
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	61,315	57,789
資本勘定繰入	175,013	144,597
計	236,328	202,386

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		羽島市			
病院名		羽島市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,158 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	271	59.2	78.3	83.0
療養	-	-	-	-
結核	10	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	281	57.1	75.5	80.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.8	14.5	14.2

設立団体の状況		
人口(人)	65,649	
決算規模(千円)	30,781,507	
標準財政規模(千円)	13,784,755	
財政力指数	0.78	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.5
	将来負担比率(%)	36.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.6
修正医業収益(千円)	3,979,710

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,752,967			
1 経常収益	5,631,481			
(1) 医業収益	4,138,111			
入院収益	2,573,182			
外来収益	1,279,233			
診療収入計	3,852,415			
その他医業収益	285,696			
(うち他会計負担金)	158,401			
(2) 医業外収益	1,493,370			
(うち国・都道府県補助金)	966,731			
(うち他会計補助・負担金)	464,937			
(うち長期前受金戻入)	34,739			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	121,486			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,701,114			
2 経常費用	5,561,108			
(1) 医業費用	5,338,143			
職員給与費	2,889,903	69.8	62.1	66.1
材料費	723,905	17.5	25.3	19.8
(うち薬品費)	398,790	9.6	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	318,676	7.7	11.4	9.3
減価償却費	309,553	7.5	9.5	10.2
経費	1,401,276	33.9	22.7	28.2
(うち委託料)	695,951	16.8	12.6	13.6
研究研修費	6,848			
資産減耗費	6,658			
(2) 医業外費用	222,965			
(うち支払利息)	28,131	0.7	1.3	1.6
(3) 特別損失	140,006			
損益				
経常損益	70,373			
純損益	51,853			
累積欠損金	3,015,480			
経常収支比率	101.3		101.9	99.9
医業収支比率	77.5		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	11.1		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	15.1		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	10.8		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	90.1		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,082,527
1 固定資産	3,917,748
(1) 有形固定資産	3,871,999
(2) 無形固定資産	8,961
(3) 投資その他の資産	36,788
2 流動資産	1,164,779
(1) 現金及び預金	367,524
(2) 未収金及び未収収益	771,276
(3) 貸倒引当金()	3,684
(4) 貯蔵品	29,663
3 繰延資産	-
負債合計	2,282,091
1 固定負債	1,330,727
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,088,776
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	241,951
2 流動負債	817,282
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	150,206
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	190,355
(6) リース債務	114,654
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	348,480
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	134,082
(1) 長期前受金	382,010
(2) 長期前受金収益化累計額()	247,928
資本合計	2,800,436
1 資本金	5,806,741
2 剰余金	-3,006,305
(1) 資本金剰余金	9,175
(2) 利益剰余金	-3,015,480
負債・資本合計	5,082,527
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	623,338	623,338
資本勘定繰入	72,672	76,332
計	696,010	699,670

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	72.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		恵那市			
病院名		市立恵那病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,063 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	199	56.1	70.1	72.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	56.1	70.1	72.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.3	12.7	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	47,774	
決算規模(千円)	33,691,617	
標準財政規模(千円)	17,594,584	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	86.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	437,502			
1 経常収益	437,502			
(1) 医業収益	193,286			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	193,286			
(うち他会計負担金)	186,246			
(2) 医業外収益	244,216			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	175,311			
(うち長期前受金戻入)	38,321			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	809,802			
2 経常費用	809,802			
(1) 医業費用	748,024			
職員給与費	16,041	8.3	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	568,427	294.1	9.5	10.7
経費	162,584	84.1	22.7	29.2
(うち委託料)	343	0.2	12.6	13.9
研究研修費	876			
資産減耗費	96			
(2) 医業外費用	61,778			
(うち支払利息)	31,471	16.3	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-372,300			
純損益	-372,300			
累積欠損金	1,358,285			
経常収支比率	54.0		101.9	100.3
医業収支比率	25.8		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	82.6		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	187.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	82.6		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	9.4		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,400,552
1 固定資産	8,110,782
(1) 有形固定資産	7,610,960
(2) 無形固定資産	14,786
(3) 投資その他の資産	485,036
2 流動資産	3,289,770
(1) 現金及び預金	2,422,255
(2) 未収金及び未収収益	854,923
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,592
3 繰延資産	-
負債合計	4,780,109
1 固定負債	3,449,573
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,390,844
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	58,729
(7) リース債務	-
2 流動負債	478,547
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	236,741
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	38,138
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	197,392
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	851,989
(1) 長期前受金	1,682,262
(2) 長期前受金収益化累計額()	830,273
資本合計	6,620,443
1 資本金	8,023,046
2 剰余金	-1,402,603
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,402,603
負債・資本合計	11,400,552
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.9
修正医業収益(千円)	7,040

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	216,536	361,557
資本勘定繰入	165,905	316,102
計	382,441	677,659

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	141.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				岐阜県
市町村・組合名	恵那市			
病院名	国民健康保険上矢作病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	3,238 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	12	指定病院の状況	救臨へ輪	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	56	62.9	70.2	69.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	62.9	70.2	69.6
平均在院日数(一般病床のみ)		11.0	11.6	11.6

設立団体の状況		
人口(人)	47,774	
決算規模(千円)	33,691,617	
標準財政規模(千円)	17,594,584	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	86.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	931,246			
1 経常収益	925,568			
(1) 医業収益	806,429			
入院収益	414,758			
外来収益	267,993			
診療収入計	682,751			
その他医業収益	123,678			
(うち他会計負担金)	79,525			
(2) 医業外収益	119,139			
(うち国・都道府県補助金)	7,594			
(うち他会計補助・負担金)	103,383			
(うち長期前受金戻入)	4,478			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,678			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	956,122			
2 経常費用	951,222			
(1) 医業費用	917,062			
職員給与費	517,789	64.2	62.1	78.9
材料費	160,016	19.8	25.3	15.6
(うち薬品費)	131,794	16.3	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,305	3.4	11.4	6.0
減価償却費	46,041	5.7	9.5	11.7
経費	183,713	22.8	22.7	31.2
(うち委託料)	79,832	9.9	12.6	14.3
研究研修費	1,082			
資産減耗費	8,421			
(2) 医業外費用	34,160			
(うち支払利息)	1,248	0.2	1.3	1.7
(3) 特別損失	4,900			
損益				
経常損益	-25,654			
純損益	-24,876			
累積欠損金	54,818			
経常収支比率	97.3		101.9	100.3
医業収支比率	87.9		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	19.8		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	22.7		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	19.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	78.1		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,400,552
1 固定資産	8,110,782
(1) 有形固定資産	7,610,960
(2) 無形固定資産	14,786
(3) 投資その他の資産	485,036
2 流動資産	3,289,770
(1) 現金及び預金	2,422,255
(2) 未収金及び未収収益	854,923
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,592
3 繰延資産	-
負債合計	4,780,109
1 固定負債	3,449,573
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,390,844
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	58,729
(7) リース債務	-
2 流動負債	478,547
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	236,741
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	38,138
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	197,392
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	851,989
(1) 長期前受金	1,682,262
(2) 長期前受金収益化累計額()	830,273
資本合計	6,620,443
1 資本金	8,023,046
2 剰余金	-1,402,603
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,402,603
負債・資本合計	11,400,552
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.3
修正医業収益(千円)	726,904

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	177,908	182,908
資本勘定繰入	25,220	25,220
計	203,128	208,128

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	141.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		土岐市			
病院名		土岐市立総合病院・駄知診療所			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,807 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	350	30.6	36.4	41.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	350	30.6	36.4	41.3
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	19.0	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	55,348	
決算規模(千円)	28,820,913	
標準財政規模(千円)	13,423,978	
財政力指数	0.69	
経常収支比率(%)	93.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	644,619			
1 経常収益	639,810			
(1) 医業収益	3,961			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	3,961			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	635,849			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	557,838			
(うち長期前受金戻入)	15,980			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,809			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,188,503			
2 経常費用	1,179,286			
(1) 医業費用	810,926			
職員給与費	-	-	62.1	63.5
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	11.8
減価償却費	375,298	9474.8	9.5	10.0
経費	426,815	10775.4	22.7	21.7
(うち委託料)	6,554	165.5	12.6	12.2
研究研修費	47			
資産減耗費	8,766			
(2) 医業外費用	368,360			
(うち支払利息)	30,479	769.5	1.3	1.4
(3) 特別損失	9,217			
損益				
経常損益	-539,476			
純損益	-543,884			
累積欠損金	6,688,489			
経常収支比率	54.3		101.9	101.7
医業収支比率	0.5		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	87.2		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	14083.3		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	86.5		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	7.0		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,584,481
1 固定資産	5,097,431
(1) 有形固定資産	5,051,078
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	46,353
2 流動資産	487,050
(1) 現金及び預金	403,599
(2) 未収金及び未収収益	79,162
(3) 貸倒引当金()	10,711
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,748,917
1 固定負債	1,661,928
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,241,928
(2) その他の企業債	405,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	493,196
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	309,318
(2) その他の企業債	135,000
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	48,878
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	593,793
(1) 長期前受金	892,751
(2) 長期前受金収益化累計額()	298,958
資本合計	2,835,564
1 資本金	9,094,294
2 剰余金	-6,258,730
(1) 資本金剰余金	429,759
(2) 利益剰余金	-6,688,489
負債・資本合計	5,584,481
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.5
修正医業収益(千円)	3,961

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	8,521	557,838
資本勘定繰入	168,040	342,879
計	176,561	900,717

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	168858.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	101,828
地財法上の資金不足比率(%)	2570.7

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名	飛騨市				
病院名	国民健康保険飛騨市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,237 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	15	指定病院の状況	救 へ 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	54	65.1	66.9	77.7
療養	27	65.9	68.9	74.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	81	65.4	67.6	76.4
平均在院日数(一般病床のみ)		17.9	14.5	15.4

設立団体の状況		
人口(人)	22,538	
決算規模(千円)	23,740,916	
標準財政規模(千円)	10,970,871	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	94.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.6
修正医業収益(千円)	1,061,873

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,484,908			
1 経常収益	1,484,908			
(1) 医業収益	1,091,628			
入院収益	538,650			
外来収益	412,003			
診療収入計	950,653			
その他医業収益	140,975			
(うち他会計負担金)	29,755			
(2) 医業外収益	393,280			
(うち国・都道府県補助金)	57,672			
(うち他会計補助・負担金)	222,553			
(うち長期前受金戻入)	39,137			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,573,888			
2 経常費用	1,573,888			
(1) 医業費用	1,404,646			
職員給与費	660,600	60.5	62.1	78.9
材料費	126,324	11.6	25.3	15.6
(うち薬品費)	50,839	4.7	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	73,451	6.7	11.4	6.0
減価償却費	122,421	11.2	9.5	11.7
経費	493,711	45.2	22.7	31.2
(うち委託料)	138,109	12.7	12.6	14.3
研究研修費	1,418			
資産減耗費	172			
(2) 医業外費用	169,242			
(うち支払利息)	7,104	0.7	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-88,980			
純損益	-88,980			
累積欠損金	958,291			
経常収支比率	94.3		101.9	100.3
医業収支比率	77.7		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	17.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	23.1		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	17.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	78.3		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,108,195
1 固定資産	1,423,520
(1) 有形固定資産	1,423,520
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,684,675
(1) 現金及び預金	1,391,512
(2) 未収金及び未収収益	278,321
(3) 貸倒引当金()	616
(4) 貯蔵品	10,458
3 繰延資産	-
負債合計	577,215
1 固定負債	366,529
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	366,529
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	203,415
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,028
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	56,571
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	109,816
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,271
(1) 長期前受金	387,788
(2) 長期前受金収益化累計額()	380,517
資本合計	2,530,980
1 資本金	2,935,594
2 剰余金	-404,614
(1) 資本金剰余金	139,450
(2) 利益剰余金	-544,064
負債・資本合計	3,108,195
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	272,344	252,308
資本勘定繰入	38,741	20,190
計	311,085	272,498

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	87.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		郡上市			
病院名		郡上市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	15,089 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	11	指定病院の状況	救臨 へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	108	84.0	91.1	88.2
療養	42	58.5	83.6	85.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	76.1	88.8	87.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.2	12.5	12.4

設立団体の状況		
人口(人)	38,997	
決算規模(千円)	32,548,776	
標準財政規模(千円)	18,008,234	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	84.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	83.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.6
修正医業収益(千円)	2,387,070

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,838,883			
1 経常収益	2,780,013			
(1) 医業収益	2,416,842			
入院収益	1,421,027			
外来収益	818,342			
診療収入計	2,239,369			
その他医業収益	177,473			
(うち他会計負担金)	29,772			
(2) 医業外収益	363,171			
(うち国・都道府県補助金)	159,978			
(うち他会計補助・負担金)	172,122			
(うち長期前受金戻入)	14,544			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	58,870			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,051,966			
2 経常費用	2,985,740			
(1) 医業費用	2,821,069			
職員給与費	1,584,497	65.6	62.1	67.4
材料費	390,239	16.1	25.3	17.7
(うち薬品費)	198,782	8.2	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	167,529	6.9	11.4	8.8
減価償却費	225,063	9.3	9.5	10.7
経費	613,683	25.4	22.7	29.2
(うち委託料)	211,748	8.8	12.6	13.9
研究研修費	2,907			
資産減耗費	4,680			
(2) 医業外費用	164,671			
(うち支払利息)	82,936	3.4	1.3	1.5
(3) 特別損失	66,226			
損益				
経常損益	-205,727			
純損益	-213,083			
累積欠損金	1,467,827			
経常収支比率	93.1		101.9	100.3
医業収支比率	85.7		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.4		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	7.1		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	86.3		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,011,552
1 固定資産	6,319,339
(1) 有形固定資産	6,315,362
(2) 無形固定資産	3,580
(3) 投資その他の資産	397
2 流動資産	692,213
(1) 現金及び預金	36,650
(2) 未収金及び未収収益	639,746
(3) 貸倒引当金()	22,922
(4) 貯蔵品	38,739
3 繰延資産	-
負債合計	6,007,164
1 固定負債	4,437,760
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,269,769
(2) その他の企業債	167,300
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	691
2 流動負債	1,279,265
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	450,037
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	156,437
(6) リース債務	207
(7) 一時借入金	332,420
(8) 未払金及び未払費用	335,571
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	290,139
(1) 長期前受金	740,685
(2) 長期前受金収益化累計額()	450,546
資本合計	1,004,388
1 資本金	3,518,782
2 剰余金	-2,514,394
(1) 資本金剰余金	22,893
(2) 利益剰余金	-2,537,287
負債・資本合計	7,011,552
不良債務	137,015
実質資金不足額	137,015
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	207,197	201,894
資本勘定繰入	182,164	120,177
計	389,361	322,071

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	137,015	4.2
令和元年度	23,719	0.7
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	77.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	304,315
地財法上の資金不足比率(%)	9.3

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 岐阜県	
市町村・組合名	郡上市				
病院名	県北西部地域医療センター国保白鳥病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,393 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	46	66.2	55.8	61.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	2.5	3.8
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	46	66.2	52.4	58.1
平均在院日数(一般病床のみ)		17.6	13.7	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	38,997	
決算規模(千円)	32,548,776	
標準財政規模(千円)	18,008,234	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	84.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	83.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.8
修正医業収益(千円)	838,694

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,102,580			
1 経常収益	1,095,162			
(1) 医業収益	847,789			
入院収益	379,745			
外来収益	330,777			
診療収入計	710,522			
その他医業収益	137,267			
(うち他会計負担金)	9,095			
(2) 医業外収益	247,373			
(うち国・都道府県補助金)	64,543			
(うち他会計補助・負担金)	165,071			
(うち長期前受金戻入)	14,782			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,418			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,138,952			
2 経常費用	1,130,780			
(1) 医業費用	1,091,725			
職員給与費	706,602	83.3	62.1	89.0
材料費	91,135	10.7	25.3	14.0
(うち薬品費)	37,149	4.4	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	45,406	5.4	11.4	5.4
減価償却費	52,581	6.2	9.5	13.0
経費	239,935	28.3	22.7	47.1
(うち委託料)	72,634	8.6	12.6	22.5
研究研修費	1,318			
資産減耗費	154			
(2) 医業外費用	39,055			
(うち支払利息)	17,270	2.0	1.3	1.3
(3) 特別損失	8,172			
損益				
経常損益	-35,618			
純損益	-36,372			
累積欠損金	1,069,460			
経常収支比率	96.9		101.9	98.5
医業収支比率	77.7		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	15.9		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	20.5		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	15.8		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	81.4		89.3	64.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,011,552
1 固定資産	6,319,339
(1) 有形固定資産	6,315,362
(2) 無形固定資産	3,580
(3) 投資その他の資産	397
2 流動資産	692,213
(1) 現金及び預金	36,650
(2) 未収金及び未収収益	639,746
(3) 貸倒引当金()	22,922
(4) 貯蔵品	38,739
3 繰延資産	-
負債合計	6,007,164
1 固定負債	4,437,760
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,269,769
(2) その他の企業債	167,300
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	691
2 流動負債	1,279,265
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	450,037
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	156,437
(6) リース債務	207
(7) 一時借入金	332,420
(8) 未払金及び未払費用	335,571
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	290,139
(1) 長期前受金	740,685
(2) 長期前受金収益化累計額()	450,546
資本合計	1,004,388
1 資本金	3,518,782
2 剰余金	-2,514,394
(1) 資本金剰余金	22,893
(2) 利益剰余金	-2,537,287
負債・資本合計	7,011,552
不良債務	137,015
実質資金不足額	137,015
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	185,832	174,166
資本勘定繰入	72,311	66,718
計	258,143	240,884

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	137,015	4.2
令和元年度	23,719	0.7
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	77.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	304,315
地財法上の資金不足比率(%)	9.3

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 岐阜県	
市町村・組合名	下呂市				
病院名	下呂市立金山病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,954 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	50	58.6	60.5	73.9
療養	49	49.0	54.4	56.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	53.9	57.4	65.2
平均在院日数(一般病床のみ)		15.2	13.6	14.8

設立団体の状況		
人口(人)	30,428	
決算規模(千円)	27,134,257	
標準財政規模(千円)	13,983,669	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	90.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.3
	将来負担比率(%)	16.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.6
修正医業収益(千円)	973,365

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,345,966			
1 経常収益	1,337,094			
(1) 医業収益	1,009,659			
入院収益	533,135			
外来収益	376,493			
診療収入計	909,628			
その他医業収益	100,031			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	327,435			
(うち国・都道府県補助金)	43,726			
(うち他会計補助・負担金)	250,532			
(うち長期前受金戻入)	15,866			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,872			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,725,289			
2 経常費用	1,490,798			
(1) 医業費用	1,418,384			
職員給与費	878,097	87.0	62.1	78.9
材料費	173,645	17.2	25.3	15.6
(うち薬品費)	76,594	7.6	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	93,848	9.3	11.4	6.0
減価償却費	80,534	8.0	9.5	11.7
経費	272,746	27.0	22.7	31.2
(うち委託料)	156,383	15.5	12.6	14.3
研究研修費	1,755			
資産減耗費	11,607			
(2) 医業外費用	72,414			
(うち支払利息)	16,432	1.6	1.3	1.7
(3) 特別損失	234,491			
損益				
経常損益	-153,704			
純損益	-379,323			
累積欠損金	1,585,490			
経常収支比率	89.7		101.9	100.3
医業収支比率	71.2		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	21.5		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	28.4		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	21.3		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	70.5		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,260,133
1 固定資産	1,927,226
(1) 有形固定資産	1,830,198
(2) 無形固定資産	35,040
(3) 投資その他の資産	61,988
2 流動資産	332,907
(1) 現金及び預金	100,852
(2) 未収金及び未収収益	222,490
(3) 貸倒引当金()	337
(4) 貯蔵品	4,902
3 繰延資産	-
負債合計	2,269,887
1 固定負債	1,400,231
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,301,031
(2) その他の企業債	99,200
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	338,426
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	90,848
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	43,685
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	182,271
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	531,230
(1) 長期前受金	683,578
(2) 長期前受金収益化累計額()	152,348
資本合計	-9,754
1 資本金	1,532,149
2 剰余金	-1,541,903
(1) 資本金剰余金	26,367
(2) 利益剰余金	-1,568,270
負債・資本合計	2,260,133
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	9,754
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	536,258	286,826
資本勘定繰入	43,961	43,961
計	580,219	330,787

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	157.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	13,871
地財法上の資金不足比率(%)	1.3

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名	関ヶ原町		
病院名	国保関ヶ原病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	6,610	
決算規模(千円)	4,780,884	
標準財政規模(千円)	2,888,783	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	90.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	51.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,473			
1 経常収益	14,473			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	14,473			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,473			
2 経常費用	14,473			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	78.9
材料費	-	-	25.3	15.6
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	6.0
減価償却費	-	-	9.5	11.7
経費	-	-	22.7	31.2
(うち委託料)	-	-	12.6	14.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	14,473			
(うち支払利息)	14,473	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	76.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	7,269	-
資本勘定繰入	27,159	-
計	34,428	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名	東白川村		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,016	
決算規模(千円)	3,024,915	
標準財政規模(千円)	1,602,810	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.2
	将来負担比率(%)	48.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	188			
1 経常収益	188			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	188			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	188			
2 経常費用	188			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	89.0
材料費	-	-	25.3	14.0
(うち薬品費)	-	-	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	5.4
減価償却費	-	-	9.5	13.0
経費	-	-	22.7	47.1
(うち委託料)	-	-	12.6	22.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	188			
(うち支払利息)	188	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	85,197			
経常収支比率	100.0		101.9	98.5
医業収支比率	-		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	64.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	125	-
資本勘定繰入	390	-
計	515	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。